

I. 履修と修了要件について

1. 演習(ゼミ)(1科目 春夏学期・秋冬学期 各2単位)

- ・春夏学期・秋冬学期ともに1科目以上3科目以内の演習を毎年履修しなければならない。
- ・主演習(主ゼミ)は「第2部門(日本語教育学位取得プログラム)演習指導教員一覧」にある教員の演習から選ぶこと。

教員一覧 → <https://gensha.hit-u.ac.jp/staff/index2.html>

- ・演習への参加者は面接で決定されるので、シラバスでゼミ選考の方法を必ず確認し、希望する各ゼミの指導担当教員に相談すること。

2. 日本語教育学位取得プログラム修了証

- ・言語社会研究科の学位は、修士(学術)であるが、日本語教育についての専門的な教育を受けたことを特に証明するために、一定の条件を満たして課程を修了した者には、通常の学位記のほかに「日本語教育学位取得プログラム修了証」を授与する。
- ・詳しい要件については、「2026年度日本語教育学位取得プログラム修了証取得のための履修要項」を参照のこと。

3. 日本語教育実習A・B(国内)

日本国内における教育実習は、修士2年目の春夏学期に実施される。「日本語教育学位取得プログラム修了証」を取得するためには、日本語教育未経験者は、国内実習の履修が必要となる。

4. 日本語教育実習C・D(海外)

- ・2026年度は、ダナン外国語大学(ベトナム)、マレーシア日本国際工科院(マレーシア工科大学内:マレーシア)を実習校として予定している。ただし、諸事情により実習が難しいと双方の大学で判断された場合は、休講となる場合もあるので、募集時期に提示される応募要領に十分注意すること。
- ・実習の時期は、ベトナムは春休み中(2月下旬~3月上旬)の14日間程度、マレーシアは秋冬学期中(11月下旬~12月上旬)の7日間程度を予定している。(個別の事情による渡航の可否、日程調整には対応しない)。
- ・定員は、ベトナム実習6名、マレーシア実習2名とする。日本語教育未経験者は原則としてベトナム実習の履修を推奨する。
- ・実習参加者は既定の参加手続きを取ったうえで、実習関連経費を支払う必要がある。
- ・詳細は募集時期に提示される応募要領を参照のこと。

5. 他研究科、学部 of 科目

他研究科・学部 of 科目 of 時間割については、CELS のダウンロードセンターから入手すること。

- ① 演習 他研究科 of 演習 of なかには、その研究科 of 学生以外は履修できないものもあるので、確認 of うえ、各担当教員 of 了解を履修登録前 to 取っておくこと。また、言語社会研究科 と異なり、他研究科 of 演習は通年で of 履修が義務付けられているものもあるので、注意すること。

② 講義

他研究科：

- ・履修制限のある科目もあるので、講義シラバスないし各研究科 of HP を参照のこと。

学部：8 単位以内。

- ・「共通教育発展科目」のうち履修可能なのは、「発展共修」科目、すなわち科目ナンバーコード of 4 桁目が「4」である科目のみである（例：XX-X4XX-X）。それ以外 of 科目は、教員 of 許可を得て聴講することができる場合はあるが、履修登録はできない。
- ・「学部教育科目」のうち履修可能なのは、学部 発展 科目のみである。導入科目、基礎科目は教員 of 許可を得て聴講できる場合はあるが、履修登録はできない。

II. 国立国語研究所図書館 of 利用

第2 部門（日本語教育学位取得プログラム） of 大学院正規学生（研究生は除く）は、利用 of 説明を受け、利用者証が発行されれば、国立国語研究所研究図書室を利用することができる。詳しい内容については、ウェブサイト [研究図書室 | 国立国語研究所 \(ninjal.ac.jp\)](http://research.library.ninjal.ac.jp) を参照のこと。